

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	障害者を支える福祉・保健・医療サービスの充実／日中活動の場の					
(2)	総合計画の体系	第	03	章	健康で安心して暮らせるまちづくり		
		第	03	節	障害者の暮らしを支えるまちづくり		
		第	32	細節	障害者を支える福祉・保健・医療サービスの充実／日中活動の場の		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		2,785,583	2,964,170	3,147,698	
		従事職員数		4.90 人	4.92 人	4.91 人	
		所要人件費(B)		39,393	38,870	39,536	
		総事業費(A+B)		2,824,976	3,003,040	3,187,234	
		財源内訳	収入	国庫支出金	1,118,914	1,161,588	1,266,171
				府支出金	555,255	580,794	633,085
				その他	188,504	205,669	207,907
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	962,303			1,054,989	1,080,071		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	生活介護、自立訓練、就労継続支援B型に通所する重度障がい者の延べ通所日数	目標値 (単位:日)	110,376.00	116,557.00	129,467.00
		実績値 (単位:日)	113,790.00	110,108.00	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	達成度(%)	103.1	94.5	
指標内容	生活介護施設 年間延利用者数 (総合福祉会館分)	目標値 (単位:人)	2,187.00	2,430.00	2,450.00
		実績値 (単位:人)	1,865.00	2,018.00	
目標値の積算方法	245日(開所日数)×10人(1日最大利用者数)	達成度(%)	85.3	83.0	

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

入所施設から地域生活へ円滑な移行が図れるよう、障がい者が日中活動を営む上での多様なニーズに対応した支援体制の整備に努めるとともに、利用者本位のきめ細やかな対応によりサービス基盤の整備を促進し、制度の充実を図る必要があります。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	日中活動系サービス事業	障がい福祉室	00507	なし	大	20	16	20	20	14	90	継続
2	生活介護施設運営事業	障がい福祉室	00463	全部	大	20	20	16	18	16	90	継続
3	生活介護施設運営事業	総合福祉会館	00355	全部	大	20	16	20	18	16	90	継続
4	日中活動重度障害者支援事業	障がい福祉室	00498	全部	大	18	18	18	18	10	82	継続
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		障害者総合支援法に基づく自立支援給付費支給事業を上位とし、次に生活介護施設運営事業や市単独事業の順としました。										